

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871400259
法人名	有限会社 和家
事業所名	グループホーム 蘭
所在地	愛媛県西予市宇和町河内 1 6 6 - 1
自己評価作成日	平成23年6月18日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ご利用者さんが、家族や地域の方たちとの繋がりを大切にしながら自分らしく生きていけるように、可能な限り、その人の力を発揮できる場面をより多く持てるよう職員が一丸となって支援しております。特に、地域の行事には参加させていただき、保育所や小学校との交流を大切にしております。天気の良い日には畑や花の手入れ、散歩がてらに、近くの農協やスーパーなどへ買物にも出かけるなどして、楽しみや役割を見つげながら、家庭的な雰囲気ですっきりと過ごしていただいております。また、22年度から学童保育を始め、子供達の元気な声に、ご利用者さんや職員も元気づけられている毎日です。</p>
--

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年7月24日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>小学1年生～6年生が事業所を訪れ、利用者に歌を歌ってくれたり、肩たたきをしてくれたり、「こまわし」「めんこ」「おてたま」等、昔の遊びを楽しみながら子ども達とふれ合われた。昨年度より始められた事業所内での「学童保育」には、地域の方々がボランティアとしてかかわってくださっている。認知症についても理解してくださっている方達でもあり、利用者子ども達のつなぎ役にもなってくださっている。地域の人達、学童保育の児童とその家族、ボランティアの人達、利用者と職員でバーベキューを行う等、事業所は地域の方達とのお付き合いを大切にしております。</p> <p>読書の好きな利用者の居室には、沢山の本が置かれている。愛用の帽子、鏡やくし、化粧品を持って来られていたり、以前俳句で入賞した際の表彰状も飾られた。職員が描いた利用者の似顔絵が飾られていて、右手におまんじゅう、左手に「ぼっぼ」を持って、笑顔の本人が描かれていた。ベットから立ち上がりやすいように椅子とベッドを紐で固定して、立ち上がり時に安心して伝って立てるように工夫をされていた。以前はご自分でお位牌にお茶を供えておられたが、現在は難しくなり職員が代行されている。ご家族が「しきび」を持参してくださり生けておられた。</p>
---

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者の</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらい</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらい</li> <li>4. ほとんど掴んでいない</li> </ol>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目: 9,10,19)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族と</li> <li>2. 家族の2/3くらいと</li> <li>3. <b>家族の1/3くらい</b></li> <li>4. ほとんどできていない</li> </ol>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎日ある</li> <li>2. <b>数日に1回程度ある</b></li> <li>3. たまにある</li> <li>4. ほとんどない</li> </ol>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ毎日のように</li> <li>2. <b>数日に1回程度</b></li> <li>3. たまに</li> <li>4. ほとんどない</li> </ol>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. <b>利用者の1/3くらいが</b></li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大いに増えている</li> <li>2. <b>少しずつ増えている</b></li> <li>3. あまり増えていない</li> <li>4. 全くいない</li> </ol>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらいが</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目: 11,12)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての職員が</li> <li>2. <b>職員の2/3くらいが</b></li> <li>3. 職員の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. <b>利用者の1/3くらいが</b></li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらいが</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらいが</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族等が</li> <li>2. <b>家族等の2/3くらいが</b></li> <li>3. 家族等の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどできていない</li> </ol>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. <b>利用者の2/3くらいが</b></li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>			

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム蘭

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

谷本 茂樹

評価完了日

23年 6月 18日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			理念に基づき実践しようとしているが、理念の捉え方が人それぞれなので、実践出来ている面と出来ていない面がある。	
			(外部評価)	
			運営理念をもとに「毎日をいきいきと過ごそう 輝く楽しい毎日にしよう 毎日をみんなで共に成長しよう」と「私たちの理念」を作成されており、玄関に掲示して、ご家族、地域の人達にも見ていただけるようにされている。法人代表者は、利用者の尊厳ある暮らしを支えるためにも利用者が地域の中で暮らすことが大切なことを職員に話しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			保育園、小学校、地区の行事には出来るだけ参加し、受け入れもしている。近くにあるAコープまでの散歩時には、出会った人々と挨拶は欠かさない。また、保育園児の保護者がよく窓越しに挨拶をして通っていただいている。	
			(外部評価)	
			公民館行事や地区の盆踊り等に、毎年参加して地域の方達と交流されている。小学1年生～6年生が事業所を訪れ、利用者に歌を歌ってくれたり、肩たたきをしてくれたり、「こまわし」「めんこ」「おてだま」等、昔の遊びを楽しみながら子ども達とふれ合われた。昨年度より始められた事業所内での「学童保育」には、地域の方々がボランティアとしてかかわってくださっている。認知症についても理解して下さっている方達でもあり、利用者子ども達のつなぎ役にもなって下さっている。地域の人達、学童保育の児童とその家族、ボランティアの人達、利用者職員でバーベキューを行う等、事業所は地域の方達とのお付き合いを大切にしておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			外へ出かけ、交流を持つことや、行事への参加、運営推進会議、ボランティアの受け入れ、保育園や小学校との交流、学童保育を通して、認知症に対する理解を深めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議では、状況等について報告や話し合いをしているが、サービス向上には活かされていない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議には地区公民館長、小学校の校長先生、地域の代表者、家族の代表者等、多くのいろいろな立場の方に出席をいただいている。災害について話し合った際には、消防団の人達にも参加していただき、初期消火やご近所との協力体制の必要性等について教えていただいた。民生児童委員からは「防災ずきんを作ってはどうか」との提案があり、5月には利用者と一緒に作成された。10月には、事業所の畑のさつまいもの収穫を保育園児と楽しみ、その後に会議を開催する等、参加しやすい会議に努めておられる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議に参加していただき実情を報告している。また、市役所に出かけた時は顔を出して話をするようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、市の担当者が出席していただき、災害対策について他の事業所の避難訓練の取組みを紹介して下さったり、夜間、不審者が出ていることへの対応についてアドバイスをいただいた。管理者は、市主催の地域密着型サービスの連絡会に出席して他事業所と情報交換をされている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>研修に参加し、身体拘束をしないケアに努めているが、勤務上の都合で外に出ないようお願いする場面もある。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は外部研修に参加して、勉強したことを職員会で伝達し拘束をしないケアに取り組まれている。「言葉で利用者を抑制しない」ように気を付けておられる。調査訪問時、玄関の戸は網戸にしておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  研修会の参加により、身体的な虐待はないが、気付かないうちに小さな言葉による虐待があるかもしれない。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  学ぶ機会を持ち、理解に努めているが、職員にとって支援に至る機会がない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  管理者が説明を行い理解・納得を図っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  面会時の話し合いや電話連絡、通信、玄関に意見箱の設置、運営推進会議などで機会を設けている。  (外部評価)  毎月のホーム便りには利用者の写真を多く載せ、ご家族に送付されており、ご家族も事業所の活動を知ることができ、便りを楽しみにされている。ご家族の来訪時、職員はお茶をお出ししてゆっくりしてもらえるよう声をかけておられる。年2回、家族会を開催して、ご家族同士も交流できるような機会を作っておられる。職員の離職や新人職員は、ホーム便りや家族会で報告をされている。	事業所は、ご家族から要望や意見をうかがいながら、さらに事業所のサービスの質向上に取り組み、ご家族とのさらなる信頼関係を深めていきたいと考えておられる。事業所がさらに良くなっていくための意見や要望をさらに引き出せるよう工夫していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 週1回のその日の勤務者だけでの話し合い、月1回の職員会で提案や意見を聞くようにし、出来る事は改善している。	
			(外部評価) 毎週土曜日の夕方15分程度、何でも話せる会「あのね」を行っておられる。職員からはテーブルの配置や、利用者の座席等、個々に気付いたことを出し合い検討されている。今年度は、職員一人ひとりがケアの目標を立てて日々取り組まれている。法人代表者は、職員の悩みや課題を聞き取るような機会も設けておられる。面接時には「得意なことがあるか」ということもお聞きして、職員個々が事業所で活躍できるようにすすめておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 積極的に考えているが、現実的に難しい面もある。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の参加や発表等を実行している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 研修に参加し、自発的に同業者との交流する機会を作っている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 情報が少ない場合も多いが、本人との会話や家族の面会時、日々の介護の中で得た情報を職員会等で共有し、関係作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族への説明と面会時、家族会等で声かけし不安解消に努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 見極めは難しいが連絡を密に取り、連絡し合って信頼を築けるように努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人が出来る事は、なるべくしてもらい、手伝い等の役割を持ってもらいながらお互いが協働し、和やかな生活が送れるように心がけている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 近況報告や家族会を利用した関係が途絶えないようにしたり、出来るだけグループホームにも来ていただけるようにして本人の姿を見てもらうようにしている。また、受診や散髪など一緒に行っていたりもいる。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ご利用者さんによっては月に1回、同級会に参加したり、娘の病院へ面会、墓参り、馴染みの散髪屋に行ったりしていることを支援している。 (外部評価) 毎月、同級会に出席される利用者がおられ、同級生の方達が事業所までタクシーで乗り合わせて送り迎えをくださり、仲間と楽しいひと時を過ごすことを続けておられる。利用者の希望で娘さんの入院先へ月2回、お見舞いに同行されている。ご家族が帰省された時には、ご本人も一緒にお見舞いに行かれています。学校の先生をされていた利用者は、教え子達が来てくれ、楽しいひと時を過ごされています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 食事の席の位置など意見を出し合いながら配慮している。生活作業、レクリエーションも性格等を考え、仲良く出来るよう努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された方の面会など時々訪問して関係性を大切にしている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご利用者さん、ご家族とコミュニケーションをとり、会議で情報を共有している。 (外部評価) 職員は利用者個々の思いや意向を引き出せるよう日々のかかわりを大切にして、センター方式を用いて利用者個々に情報収集を行っておられる。日々の暮らしの中の会話やちょっとした仕草等も記録して、利用者の思いや意向を探ることに努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用開始時には分からない情報などはご本人から聞いたり、そのつご家族から聞き、情報を共有している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) バイタルチェックや日々の表情のを見て、定期的なカンファレンスなどで情報を交換しながら把握に努め、趣味や活動を支援している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご利用者さんの担当を決め、カンファレンスや職員会での意見交換を元に介護計画を作成している。必要に応じて、ご家族、主治医、看護師の意見も聞いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者毎に担当職員を配置して、個々に情報を集めたり、ご家族からも情報や意見をいただき話し合い、利用者一人ひとり、事業所での役割を考慮した介護計画の作成に努めておられる。毎月、利用者にかかわる方達からも情報や意見をいただきながら、モニタリングを行っておられる。心身の状態に変化があった場合はその都度計画を見直し、変化の無い場合は、6か月毎の見直しとなっている。介護計画を見直す際には、センター方式の「私の姿と気持ちシート」で現在の状態をアセスメントして計画に反映するようになっている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>口頭での申し送りの他にも個別記録や週1回の、その日の勤務者だけの話し合い、連絡長への記入により共有し活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人での外出、通院や散髪屋、買い物、面会への付き添いの介助、訪問美容など柔軟に取り組んでいる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>子供達との交流や、近くのお店への買い物、散歩、ボランティア、畑仕事などを支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 希望を大切にしながら状況に応じ、主治医・看護師と相談しながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p> <p>(外部評価) かかりつけ医と泌尿器科への受診には看護師資格を有する職員が同行されているが、その他の専門医の受診は家族が同行されている。ご家族の都合がつかないような時には、看護師資格を有する職員が同行されている。かかりつけ医に24時間連絡が可能で相談したり往診もお願いできるようになっていることは、家族にとっても安心感につながっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 看護師が常勤し主治医と職員間で情報を共有している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院するご利用者がいると連絡をとって情報交換を行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 看取り指針を作成し、ご家族に説明している。主治医とも話し合い、早い段階で終末期ケアに取り組むことができている。</p> <p>(外部評価) 利用者の状態変化時等には、終末期の過ごし方について話し合いの場を設け、かかりつけ医の意見も聞きながら、事業所でできること、できないことを説明されている。かかりつけ医の往診も可能であり、ご家族からは「ここで最期まで」との希望が多いようである。昨年度、遠方におられるご家族と連絡をとりながら事業所で初めての看取り支援に取り組んだ事例がある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	マニュアルを作成し、毎年、消防署の指導の下、救命救急の訓練を行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	月に一度、色々な想定の下、訓練を行っている。年に一度、消防署を招いての訓練を行っている。	
			(外部評価)	毎月、自主避難訓練に取り組みされており、地震を想定した訓練を行った際には、手作りの防災ずきんを被って避難された。夜間想定の際には、利用者を一人ひとり起こして避難誘導をされた。いろいろな場面を想定した避難訓練を重ねることで、職員は「避難の方法が身に付いている」と感じておられる。近々、消防署の指導のもと地域の人達や駐在所の方にも参加していただき、合同訓練を計画されている。	
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	言葉には気を付けているが、慣れた会話のなかに失礼なことを言っているかしのれないと思う時がある。	
			(外部評価)		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	全場面とは決して言えないが、出来る限りの働きかけは心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースを大切にしよう心がけて、出来る範囲 で過ごしていただいているが不十分な事もある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 特に整髪、身だしなみ、服装には気をつけている。自己決 定のしにくいご利用者さんには職員と一緒に考えながら支 援しよう心がけている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節を感じてもらえるように畑の野菜を優先的に使用したり、 食材の調理や準備、片付けは一緒にしている。また、ご利用 者さんと職員が同じテーブルで食事をしている。	
			(外部評価) 職員で話し合ったり、利用者の希望を聞いて、献立を作って おられる。調査訪問時は、おにぎりを握ってくださる利用者 や、食後は食器を拭く利用者もみられた。食事の前には口 腔体操を行っておられ、笑う等して唾液がよく出るようにし て、食事がしやすくなるよう取り組まれている。昼食のサラダ には事業所の畑で採れた野菜が盛り付けられており、トマト が苦手な利用者に職員は「私、トマトが好きだからもらっても いいですか。」と聞かれて、利用者は「いいよ」とトマトを職員 にあげている様子が見られた。お茶のお代わりをすすめる 際、職員は利用者個々に「熱いのがいい？冷たいのがい い？」と尋ねておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) ご利用者さんによっては職の細かい人もあり、量を増やすこと を目標にしたり、水分を摂ってもらえるように好みの飲み物に し、毎日、食事量や水分量などチェックし記録している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後は理想だが、ご本人の習慣や能力、口腔状態に応じ て支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) みんなで検討しながら出来る限りで取り組んでいるが、どうしてもパターンやサインを把握出来ないご利用者さんはトイレは誘導している。 (外部評価) 職員は排泄記録等から利用者一人ひとりのパターンを把握し、声かけをしたり、誘導してトイレで排泄できるよう支援されている。紙パンツを使用する利用者も、日中はパットを外してトイレに誘導するよう努めておられる。夜間や体調不良時にポータブルトイレを使用されている方もいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分を摂ってもらったり、食事や運動をするよう声をかけて、それでも改善出来ない場合は主治医と看護師と相談しながら下剤や浣腸を使用している。また、時間を見て誘導しトイレで排泄出来るよう支援している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 可能な限り、回数や時間帯の希望は聞いているが、どうしても職員の都合で入浴をしてもらう場合もある。 (外部評価) お気に入りのシャンプーや石けんを使用される利用者もおられ、シャンプー等の容器には、大きな字で内容がわかるよう表示されていた。毎日入浴する方や2～3日に1回の方もあり、職員は利用者一人ひとりに確認しながら入浴支援されている。入浴支援を始める際、職員は浴室入口に手作りののれんをかけ、入浴が終われば外し、利用者が入浴の気分になったり、場所が分かるように環境作りをされていた。以前は夜間入浴を希望される利用者もおられたが、現在はおられないようだ。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) なるべく日中は活動をしています。状況を見て昼食や休憩等もしてもらっています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 大まかには理解に努めているが、用量や副作用は覚えきれないので、いつでも確認できるよう薬箱と介護記録帳に貼ってある。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 調理、炊事、洗濯、畑仕事などの軽作業通じての役割作りや絵、バレエ散歩、買い物などの生きがい作りに努めている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望とまでは叶えられないが、天気の良い日には戸外に出られるよう支援に努めている。	
			(外部評価) 近くのAコープへ買い物に出かける際には、利用者にも声をかけて一緒に出かけておられる。好きなお菓子や飴を買ってご自分で支払いをされる方もおられる。職員は利用者「外に出ると楽しいですよ、運動にもなりますよ」等と誘い、散歩等もされている。時には歌詞カードを持ってAコープ入口近くにあるベンチで歌を歌うこともあり、買い物にいられた地域の方も一緒に歌ってくださることもある。調査訪問時、利用者と職員が畑でキュウリやナスを収穫したり草引きをしておられた。職員は利用者「このカボチャ取っていいですか？」と聞いておられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 力に応じて自己管理をされている方もおられる。買い物の際は財布を持ってもらい、なるべく自分で支払いをしていただいている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 出来る人には支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花を生けたり、作品を飾ったり、外との温度差に配慮しながら戸を開けたりエアコンを付けたりして居心地よく過ごせるように工夫している。	
			(外部評価) 門には、地域の盆踊りに飾る手作りの灯ろうがあり、玄関にはダリヤの花が生けられていた。玄関近くの廊下には手作りされた防災ずきんが洗濯ばさみで止めてあり、利用者が引っ張ってご自分で取れるようにされている。居間には、投句箱が置かれてあり、利用者が俳句を詠み投句される。利用者が描いたお花の絵や俳句、習字等は居間に飾っておられ、時々話題にされている。ホワイトボードには、利用者が使う「方言」が書かれており、若い職員は意味を教えてくださいながら利用者と楽しそうに話しておられた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 和室、ソファー、長椅子など、それぞれの空間を利用し工夫している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 人それぞれだが、テレビや花などご本人の好きな物を置いている方もおられるし、使い慣れた物や、位牌や写真を持って来られている方もいる。	
			(外部評価) 読書の好きな利用者の居室には、沢山の本が置かれている。観葉植物を育てたり、小学校で行われた交流会時にももらった「ぬいぐるみ」を大切に飾っている方もおられた。愛用の帽子、鏡やくし、化粧品を持って来られていたり、以前俳句で入賞した際の表彰状も飾られたいた。職員が描いた利用者の似顔絵が飾られていて、右手におまんじゅう、左手に「ばっぼ」を持って、笑顔のご本人が描かれていた。ベッドから立ち上がりやすいように椅子とベッドを紐で固定して、立ち上がり時に安心して伝って立てるように工夫をされていた。以前はご自分でお位牌にお茶を供えておられたが、現在は難しくなり職員が代行されている。ご家族が「しきび」を持参していただき生けておられた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりを付けたり、歩行の際に邪魔になりそうな物は、なるべく置かないようにしている。居室入口や共同で使う便所には、分かりやすい高さ、大きさで名前を書いたり、風呂場にはのれんを付けている。また、ベッド周りに手すりやイスの設置、寝起きしやすいよう環境作りに努めている。	